

note、ソーシャルプラグインの「note で書く」ボタンを初公開 第一弾として「日本経済新聞 電子版」に実装されました。

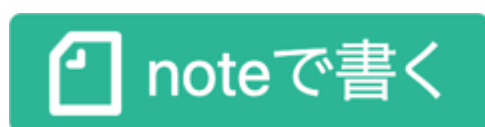


ピースオブケイクが運営する note は、メディアサイト向けのソーシャルプラグイン「note で書く」ボタンを2019年5月22日から公開しました。各種ウェブサイトや iOS / Android アプリ、ブログなどの運営者が「note で書く」ボタンを設置すると、読者はボタンから当該サービスの情報を元にした note を投稿できます。各サービスの情報が流通しやすくなり、note ユーザーが創作をつづけるきっかけも増やします。第一弾として、日本経済新聞 電子版（PC版）に「note で書く」ボタンが実装されました。ニュース記事をテーマにした note を募るお題企画「#ニュースで語る」も本日から開始します。

ソーシャルプラグイン「note で書く」ボタン 公開背景

ピースオブケイクは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする。」をミッションに掲げています。インターネットの普及により、ひとが創作をはじめたりその成果を公開したりしやすい社会になりました。一方で創作意欲はあっても「続ける」ことへのハードルはいまだに高いのが実態です。「note で書く」ボタンがさまざまなウェブサイトやアプリに設置されると、記事を読んで湧きあがる「誰かに伝えたい」「こんなことを考えついた」という気持ちをすぐに創作活動へつなげられるのではないかと考えて「note で書く」ボタンを公開することにしました。

ソーシャルプラグイン「note で書く」ボタン概要



ソーシャルプラグインは、ウェブサイトやアプリに設置して note と連携した行動をサポートする機能です。ユーザーが「note で書く」ボタンをクリックすると「記事タイトル」「記事URL」「（各サービス指定の）ハッシュタグ」が挿入された note の投稿画面が立ちあがります。

各種ウェブサイトや iOS / Android アプリ、ブログなどの運営者の方で、
ソーシャルプラグイン「note で書く」ボタンの設置を希望される場合は、以下を参考に設定ください。

<https://note.pieceofcake.help/hc/ja/articles/360000272622/>

note のお題企画をはじめます

ソーシャルプラグイン「note で書く」ボタンの公開にあわせて、本日より note のお題企画「#ニュースで語る」をはじめます。気になるニュース、感銘を受けたニュースを自分の立場や視点から語った note を募集します。

日経電子版の「note で書く」ボタンをクリックすると、記事見出し、記事URL、ハッシュタグ「#COMEMO」が挿入された投稿画面が立ち上がります。ハッシュタグ「#COMEMO」付きで投稿された note は、日本経済新聞社運営のビジネスパーソンが知見を共有するプラットフォーム「COMEMO by NIKKEI」や日経電子版トップの連動企画に転載される可能性があります。



お題企画の告知ページはコチラ <https://note.mu/info/n/n455248677273>

COMEMO by NIKKEI

COMEMOは、ニュースや書籍、体験などから得た気づきや考えを日々、記録・共有することができる知見シェアサービスとして2017年7月に立ち上がりました。さまざまな分野で活躍する専門家をキーオピニオンリーダー（KOL）として招待しています。彼らの知見を通して世の中を新たな視点で見ることが出来ます。また、見るだけでなく、自分の意見を投稿することもできます（KOL以外の投稿については、COMEMO運営がnote上の#COMEMOタグの付いた投稿を巡回して、良いものを取り上げています）。

<https://comemo.nikkei.com>

日本経済新聞社

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である『日本経済新聞』の発行部数は現在約235万部、2010年3月に創刊した『日本経済新聞電子版』の有料会員数は72万で、有料・無料登録を合わせた会員数は400万を上回っています。

日本経済新聞：<https://www.nikkei.com/>

note（ノート）



メディアプラットフォーム **note** は、クリエイターが文章やマンガ、写真、音声を投稿することができ、ユーザーはそのコンテンツを楽しんで応援できるウェブサービスです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。プロもアマも混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービス開始し、現在までに約350万件の作品が誕生して月間アクティブユーザー数は1000万人に達しています。

URL : <https://note.mu/>

iOSアプリ : <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>

Androidアプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

株式会社ピースオブケイク

ピースオブケイクは“だれもが創作をはじめ、続けられるようにする。”をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォーム・**note**（ノート）では、クリエイターが各自のコンテンツを発表してファンと交流することを支援しています。多彩なクリエイターや出版社と連携しているコンテンツ配信サイト・**cakes**（ケイクス）は、**cakes**発のベストセラーを多数輩出しています。

〒107-0061 東京都港区北青山3-1-2 青山セント・シオンビル 4階
設立日：2011年12月8日 役員：代表取締役CEO 加藤貞顕